

つなげよう つながろう ふたばのわ

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるためのコミュニティ紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。



巨大ダルマ引き

- ▶ 成人式で聞きました! 後世に残したい双葉町(P2~3)
- ▶ 会いたい人に会える場所 双葉町ダルマ市(P4~5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ 町からのお知らせ(P7) ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



1月3日(火)、いわき市内で双葉町成人式が行われ、58人が出席し、成人の門出を迎えました。新成人のみなさんに、中学校2年生まで過ごした双葉町の好きなもの、後世に残したいものを今年も聞いてみました。

「ほり、あれ！なんだっけ〜あの場所」

「覚えてはいるけど名前が出てこない〜」

約6年も前となると、なかなか思い出せない様子。

それでも、家族や友達と過ごした大切な場所をエピソードを交えながら懐かしそうに話してくれました。

二十歳を迎えた今も心の中にある双葉町。その日々を胸に、力強く未来へ羽ばたいてほしいと思います。

成人式で聞きました!

後世に残したい双葉町



お神輿を担いだり、リンゴ飴やイチゴ飴を買ったことが思い出です。



親が司書をしていたので、小学生のころ毎日のように通い、閉館まで本を読んだり宿題をしたりしていました。



成人式に来られなかった双中バスケット部の仲間。バスケットはけっこう強かったです。



生まれ育った場所。今でも懐かしく、大切に思います。



ヒレカツが好きでした。家族や友達とまた食べに行きたいです。



小学生のころ、お菓子を買いによく通っていました。



よく遊びに行った友達の家。人生について語り合ったこともありました。



双中時代の部活。当時のメンバーと久しぶりに会えてうれしいです。



露店を回ってたい焼きを買ったり、巨大タルマ引きに何度か参加しました。



夏休みの部活帰りに自転車遊びに行き、ジャージ姿のまま泳いでいました。



家族や友達と通ったお店。味噌ラーメンとギョーザが美味しかったです。



毎年、秋に芋煮会が行われていたことを覚えています。



練習はキツク大変でしたが、今となっては良い思い出です。



毎日ソフトテニスの練習をし、成長させてくれた場所。汗や涙(と鼻水もちょっと)がしみ込んでいます。



幼いころから歴史が好きだったので、よく通っていました。



下校後、みんなで鬼ごっこなどで遊んでいました。



6年間通った場所。清戸迫横穴がありました。



双中の野球部に所属していたので、試合でよく使っていました。



部活の大会後などに食べに行っていたお店。チャーハンが美味しかったです。



本を読むことが好きで、よく通っていました。



お店の名前はWheatField(ウィートフィールド) イギリスパンが好きで、パンの耳をよくもらっていました。

会いたい人に会える場所 双葉町ダルマ市

平成29年1月7日(土)・8日(日)



1月7日(土)、8日(日)、いわき市南台応急仮設住宅イベント広場で、恒例の双葉町ダルマ市が開催されました。天候にも恵まれ、県内外から2日間約5000人の来場者があり、懐かしい顔との再会を喜ぶ姿が数多く見られました。

ダルマ市は小さな双葉町

今回も町の民俗芸能の発表・披露をはじめ、巨大ダルマ引き、消防団ダルマ神輿など、ダルマ市には欠かせないプログラムが行われました。また、県立双葉工業高校と県立いわき総合高校生徒による、和太鼓とフラダンスの若さあふれる共演があり、会場を盛り上げました。

「初めて双葉町のお祭りで披露したが、大きな拍手をいただいたうれしかった」

「いつか双葉町で開催されるダルマ市で太鼓を叩いてみたい」

双葉工業高校の生徒からは、このよう

な感想が聞かれました。

また、20余りの露店が並び、双葉ダルマやよっちゃんスルメなども販売され、イベント広場は小さな双葉町になったようでした。

「双葉町のお祭りと言えばダルマ市。ここが再会の場となり、みなさんの笑顔が見られれば、私たちもうれしいし、来年もやっつてやるぞと思います。今後(いわき市で)続けていきますが、最終目標は双葉町での開催。そのためにも町のことが好きで、一緒にダルマ市を盛り上げてくれる若者の参加を待っています」

主催者である夢ふたば人会長の
中谷祥久さんは力強く
話していました。



夢ふたば人会長
中谷祥久さん



思い出いっぱいのだるま市

来場した52人(男性30人、女性22人)のみなさんに、だるま市について伺いました。その多くは、現在のだるま市は「懐かしい人との再会の場」で、それを「楽しみにしている」。そして継続を希望する意見が大半でした。

また、震災前はだるま市に足を運んで楽しむだけでなく、露店での販売、芸能発表会への出演、美術展への出品など、何らかの形で関わっていたことが分かりました。そのことが、だるま市が双葉町の祭りであるとの想いを強くさせていると感じました。

今後、以前のように関わる人が増えれば、町内で開催していただるま市に一步一歩近づいていくのではないかと期待が膨らみます。

みんなでだるま市を盛り上げましょう！



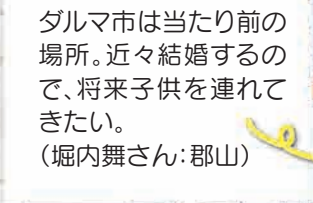
※こちらの掲載写真は平成22年1月に撮影されたものです

双葉町民52人に聞きました!

in南台



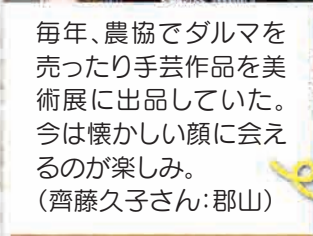
今回、震災後初めて来て懐かしい顔に会えた。今後、他県に住む町民が来やすくなればもつといい。
(廣田知哉さん: 渋川)



だるま市は当たり前の場所。近々結婚するので、将来子供を連れてきたい。
(堀内舞さん: 郡山)



子どものころはお小遣いをもらって、型抜きやくじ引きをして楽しんだ。今回は子どもにだるま市を見せたくて来場した。
(松本光弘さん: 新山)



毎年、農協でだるまを売ったり手芸作品を美術展に出品していた。今は懐かしい顔に会えるのが楽しみ。
(齊藤久子さん: 郡山)



だるま市はこの日にしか会えない顔に会える再会の場。継続することが一番大切。
(岡戸正良さん: 新山)

Q1 震災前のだるま市でどんな思い出がありますか?

毎年だるまを買い、翌年のどんと祭で供養した。婦人会で美術展に出品したり、カレーやうどんも売っていた。
(鈴木光子さん: 細谷)

毎年初詣神社で神楽の奉納をしていた。今は長塚の神楽が披露できないが、いつか復活させたい。
(木幡智清さん: 長塚一)

なぜかコーラの一気に飲み大会が印象に残っている。だるま市の規模は小さくなったけど、毎年たくさんの方が来てくれて、うれしい。
(手島敏江さん: 三字)

子どものころ、美術展で金紙を何回ももらった。結婚後は子どもの作品を観に行った。だるま市は仲間と震災前と同じことができる場所。
(西内芳徳さん: 下長塚)

他地域から嫁いできたので、巨大だるまはインパクトがあった。
長塚から新山まで露店がたくさん並んでいた。
初めて親の付き添いなしで友達と遊びに行った場所。

Q2 震災後のだるま市はどんな場所になりましたか? どんな場所であってほしいですか?

「久しぶり!」の挨拶が合言葉。今後も町民が集まれる場所であってほしい。知り合いが元気であれば、自分も頑張れる。
(田中武さん: 郡山)

場所は違って双葉町のお祭りだと感じられる。
双葉町には行けないがだるま市は居場所であり、ふるさと。
南台での第1回目は涙の再会がたくさんあり、特に感動した。
伝統芸能を観る機会を残してほしい。
子どもを連れて来やすくしてほしい(遊具や休憩場所の設置)。
若者の想いが実現できる祭りになってほしい。

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



12月10日(土)
いわき・まごころ双葉会
クリスマス会(いわき市)



12月13日(火)
相馬妙見初發神社
しめ縄づくり
(いわき市)



12月16日(金)
サポートセンターひだまり
青木淳也さんコンサート(いわき市)



12月17日(土)
県中地区自治会
クリスマス会(郡山市)



12月17日(土)
双葉料理教室冬の陣
in 南相馬(南相馬市)



12月23日(金)
県北ふたば会
ふたばふるさとカルタ大会(福島市)



12月25日(日)
県南双樹会
餅つき大会
(白河市)



12月26日(月)
お正月準備の会
[埼玉自治会参加]
(東京都内)

町からのお知らせ

タブレット端末

新しい町民向けタブレット端末の配付について

町では、平成26年度から町の情報発信や町民同士の絆の維持・発展を目的として、町民の方へ「タブレット型情報端末(SONY製Xperia)」を無償貸与し、ご利用いただいております。このたび、端末や周辺機器の経年劣化などがみられることから、これまでご利用いただいている方には平成29年3月下旬を目途に新しい端末を配付する予定です。端末を新しくすることにより電源ボタンや音量ボタンなどの配置が変わりますが、タッチパネル操作方法などは、これまでと同様に操作できるよう検討を進めています。



詳細につきましては、今後、町からの広報資料でお知らせしますのでご確認願います。

【問い合わせ先】双葉町秘書広報課 ☎0246-84-5202

情報

双葉町・中野地区復興産業拠点の都市計画案の縦覧について

双葉町では、以下の要領にて、中野地区復興産業拠点の都市計画案の縦覧を予定しております。双葉町の住民及び利害関係人で、都市計画の案について意見のある方は、縦覧期間中、双葉町に対し意見書を提出することができます。

【縦覧期間】

平成29年2月22日(水)～
平成29年3月8日(水)

【意見提出の方法】

縦覧場所に備え付けの様式に意見を記入し、持参又は郵送により復興推進課までご提出ください。なお、ご持参いただく場合は、平日の業務時間での受け付けとなります。

【縦覧場所】

- 双葉町いわき事務所
- 双葉町郡山支所
- 双葉町埼玉支所

郵送の場合の送付先

〒974-8212
福島県いわき市東田町2丁目19番地4
双葉町いわき事務所 復興推進課

【問い合わせ先】双葉町復興推進課 0246-84-5203

情報

住宅ローンの免除等について(福島財務事務所)

東日本大震災により被害を受けられた方へお知らせです。「個人版私的ガイドライン」を利用することにより、震災前からの住宅ローンなどが免除されます。

※債務の免除には、一定の要件を満たす必要があります。

利用するメリット

- (1)生活再建に必要な資産(500万円(上限)・義援金等)は手元に残せます。
- (2)弁護士などの登録専門家が手続きをサポートします。
また、国の補助により弁護士費用はかかりません。
- (3)債務整理したことは個人信用情報として登録されません。

詳しくは、下記に問い合わせください。

【問い合わせ先】一般社団法人 個人版私的整理ガイドライン運営委員会
コールセンター ☎0120-380-883
福島支部 ☎024-526-0281 (受付時間:平日午前9時～午後5時)



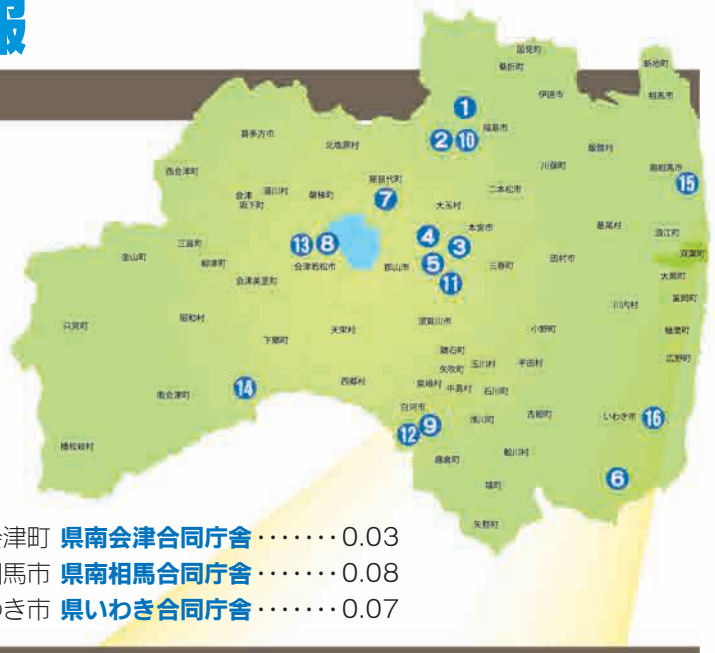
放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成29年1月27日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.10~0.18
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.06~0.07
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.12~0.22
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.07~0.39
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.17~0.21
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.07
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.04~0.06
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.06~0.20
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.10~0.15
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.16
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.11
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.07
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.05

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.03
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.08
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成29年 1月27日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.60
新山	新山公民館	—	0.42
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.40
新山	双葉南小学校	—	0.45
新山	双葉中学校	—	0.21
新山	県立双葉高等学校	—	0.27
新山	中央公園	—	0.49
下条	双葉総合公園	2.60	0.84
下条	双葉町役場	—	0.29
郡山	郡山公民館	1.48	0.51
細谷	細谷公民館	2.31	0.63
三字	三字公民館	2.53	0.95
山田	山田農村広場	24.47	6.24
石熊	石熊公民館	12.10	2.66
長塚	双葉町体育館	6.25	1.84
長塚	長塚二公民館	3.26	0.78

地区	地点	平成24年 4月1日	平成29年 1月27日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.07
長塚	町西住宅	—	0.44
長塚	JAふたば北部営農センター	—	6.24
長塚	双葉北小学校	—	1.76
長塚	ふたば幼稚園	—	1.59
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.42
長塚	双葉町児童館	—	0.31
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.67
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.54
寺松	寺松公民館	3.46	1.11
渋川	渋川公民館	1.48	0.47
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.38
中田	中田公民館	0.77	0.26
両竹	両竹公民館	0.54	0.10
浜野	浜野公民館	0.34	0.08

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

「6年ぶりにみんなと会ったけど、全然変わってなくてホッとした」

成人式で、何人かの新成人からこんな話を聞きました。聞けば震災以降、会う機会がなく当時から大きく変わってしまっていたら…という不安な気持ちがあったとのこと。中学生最後の年を別々の場所で過ごしたため、成人式では再会への期待もありつつ変化への不安もあったのかもしれない。

それでも、双葉町での思い出は？との質問に、冗談を言い合いながら、まるで昨日のこのように話してくれた新成人のみなさん。心の中にある「双葉町」が映し出されたような瞬間でした。

※成人式とダルマ市で取材にご協力いただいたみなさん、貴重なお話をありがとうございました (ふたさほ 山下真央)

後世に残したい双葉町

私が生まれ育った石熊地区は山や川に囲まれた自然豊かな地域でした。その豊かな自然を生かし、ゴールデンウィークに開催していた石熊地区独自の「田舎まつり」が一番に思い出されます。石熊青年有志会が主催のこの祭りでは、前田川の上流(七日沢)をせきとめて放流したイワナやヤマメのつかみ取りや、山で摘み取った山菜の販売などを行いました。子どもから大人まで自然の大切さや恵みを体感できる石熊地区ならではの行事でした。



そういった活動の中で生まれた有志会メンバーとの繋がりがや団結力は今でも私の心の中で生きています。いつか、あの大自然の中で再び「田舎まつり」が開催できる日が来ることを願っています。 ※「田舎まつり」は以前双葉町の石熊地区で約10年間行われていた行事です